

代表質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月15日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	19分	嘉陽 宗儀(共産党)	知事
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <p>(1) 基地問題について</p> <p>ア 沖縄の米軍基地を使つての日米共同統合演習は、県民生活を恐怖にさらしている。軍事演習の実態はどうなっているか。掌握しているか。防衛局からの説明はあったか。</p> <p>イ この軍事訓練は、中国、北朝鮮を仮想的敵国とし、尖閣諸島など島嶼防衛の訓練を目的としていると説明しているが、即刻抗議し、その中止を日米政府に求めるべきである。知事はどう対応しましたか。</p> <p>ウ このような危険な情勢が展開している中で、知事は自衛隊の増強を主張していますが、全く常識では考えられません。その意図は何か。</p> <p>エ 日本政府は、アメリカ一辺倒から抜け出してアジア諸国との平和の関係を築く自主的な外交戦略を確立し、軍事偏重でなく平和外交による問題解決に徹する姿勢を堅持すべきだ。そして北東アジアの平和と安定を築く上で積極的な役割を果たすよう、最も危険にさらされている沖縄県の知事として当然に申し入れるべきであると考え、知事の決意を伺う。</p> <p>オ 東南アジア諸国連合(ASEAN)がこの10年間に平和の地域共同体として発展し、その活動がアジアと世界の平和に貢献している。今こそ憲法第9条を持つ国として、憲法を平和外交の指針にすべく高らかに宣言すべきではないか。所見を伺う。</p> <p>(2) 選挙公約実現の取り組みについて</p> <p>ア 普天間基地の問題について</p> <p>(ア) 知事が政府に正式に公約どおりに県外移設を求めても日米両政府はかたくなに拒否し、日米合意の実行を迫っている。県民の総意を踏みにじり、辺野古新基地建設を力づくで押しつけてくる。それだけに辺野古への新基地建設を断念させるためには、島ぐるみの闘いを大きく発展させなければならない状況になっている。この際、知事も腹を固めて、県民の先頭に立って日米両政府の基地押しつけに反対していくべきと考え、決意を伺いたい。</p> <p>(イ) ところで、宜野湾、名護の両市長が連携を求めたら「同床異夢の感がないわけではない」と対応している。マスコミは「本気で公約を守りたいなら、知事の側から2市長に協調を呼びかけてもおかしくない。恩讐を超え、対極的見地に立って行動する度量が知事には求められる」と批判的見解を社説で述べている。なぜ公約と違う態度をとったのか、県民が納得できる説明を求める。本気で公約実現をする決意はあるのか。「歴史は県民が動かす」が沖縄の歴史の教訓である。「県民の心をひとつに」の立場を堅持して日米両政府と対応すべきである。今後どのような行動を展開していくのかお聞きしたい。</p> <p>(ウ) 知事の県外移設要求を確固としたものとして意思表示するために現況調査を拒否した名護市のように、辺野古への新基地建設にかかわる現況調査や公有水面の埋立許可など、一切の県に係る業務を拒否すべきと考え、決意を伺う。</p> <p>(エ) 危険性の除去のために辺野古への新基地建設の方針が出されたが、結局14年たっても県民の反対で実現しなかった教訓を政府に明確に伝えるべきではないか。</p> <p>(オ) 一日も早い普天間基地の危険性の除去を公約しているが、具体的に何を求めるのか明らかにせよ。</p> <p>(カ) 危険性の除去のために、緊急処置として飛行訓練、軍事訓練の中止を申し入れるべきである。決意を伺う。閉鎖状態にすることが最も現実的ではないか。</p>			

(キ) 危険性の除去のために、海兵隊の任務が「殴り込み部隊」である実態を明らかにして、その撤退を求めていくべきである。所見を伺う。

イ 経済問題について

「経済に強い仲井眞」と宣伝されているが、その実態がよくわからない。辞典には「経済」とは「経国救民」、「国を治め人民を救うこと」とある。県民の生活は「貧困と格差」が広がり、自殺者もふえ続け、ついに年間400名を突破し、全国で高知県に次いで第2位になっている。県民の命を救えずに、それでも経済に強いというのか、言葉の意味を理解されているのか疑問である。

(ア) マスコミは「不況が長引く中で、経済重視の仲井眞に期待が集まった。」と報じている。経済の仲井眞知事が県政不況を改善できなかったのはなぜか。

(イ) 雇用対策について、「雇用を拡大し、完全失業率の全国平均化を達成します。」とあるが、具体的な施策がない。前回も失業率を全国並みの4%にすると公約したが、結果は4年前より悪化し、8.2%になっている。どう釈明されるか。

(ウ) 県民所得を全国中位にと公約されているが、具体的な施策は何か。所得の公約も失業率と同じような結果にならないか。

(エ) 「経済の自立なくして沖縄の自立なし」と発言されているが、具体的内容は何か。

(オ) 建設業支援をうたっているが、具体性がない。この際、県は、発注の公共工事は基本的に100%県内業者に発注し、国にも同趣旨を求めたらどうか。

(カ) カジノ導入について、世界からばくち打ちや犯罪者が押しかけると県民は恐怖に思っているが、どうするのか態度を明らかにせよ。沖縄は、パチンコ依存症が全国一である。その上にカジノを誘致したら県民生活に与える影響は深刻になる。知事はどうなると考えているか。

(キ) 観光客1000万人構想を打ち出したが、21年度は前年度よりも落ち込んでいる。その原因は何か。知事の実績宣伝では落ち込んでいる事実を故意に隠して、「過去最高を記録し」とある。なぜ選挙目当ての宣伝で県民をだましたのか。

ウ 県立郷土劇場の建設について

知事は、伝統芸能の継承を叫びながら、重要な県立郷土劇場を廃止した。そのために世界に誇るべき琉球伝統芸能の継承と創造と発信の中核的拠点が失われ、先人の偉業を受け継いで芸を磨き、後進の育成のために日夜努力している芸能関係者から県立郷土劇場の早期再建についての陳情が出されている。組踊が世界に誇る文化としてユネスコの無形文化遺産に登録されるという画期的な状況もあり、県立郷土劇場の建設については早急に具体化すべき。決意を伺う。

エ 待機児童対策について

乳幼児の保育所不足は改善されず深刻な事態になっている。待機児童解消を打ち出しているが、その具体的な内容が明確でない。取り組みを明確にせよ。

オ 中学校卒業までの入院費を無料にすべきだと考えるが、決意を伺う。

カ 県立病院と浦添看護学校の問題について

両方とも従来どおりに県立として存続させ守るべきである。決意を伺う。

キ 鉄軌道の導入について

鉄軌道導入の早期実現のために具体的に取り組みを進めるべきと考えるが、進捗状況を説明せよ。また、公約に鉄軌道体系を含む公共交通システムの導入を推進するがあるが、どのような計画か。

ク 泡瀬干潟埋立事業計画について

沖縄市の事業計画書は全く科学的根拠のない杜撰なものであり、しかも全くの経済的合理性のない内容である。それを無理に進めると、県財政の破綻は新港地区の二の舞になることは明白である。中止すべきだ。費用対効果はどうなっているか。

(3) 県財政の問題について

ア 現在の地方交付税の算定はどのように行われているか。

イ 政府の一般会計歳出予算額に占める沖縄関係予算の割合は幾らか。

ウ 米軍基地維持経費を除くと幾らになるか。

エ 人口比で算出すると、沖縄は幾ら増額になるか。

オ 沖縄振興事業費は平成10年度4713億円で、同22年度は2268億円と半分以下になっ

ている。高率補助で基地を押しつけてきたが、財政投資の割合から見れば優遇されていない。なぜそうなっているか。

カ 県の漁業取締範囲の海域面積で算出すると幾らになるか。

キ 今後、海域の財政需要を認めさせるべきと考えるが、決意を伺う。

(4) 「万国津梁」について

ア 「万国津梁」の先人たちの精神は何か。

イ 米軍基地で打ち固められた現在の沖縄の実態を嘆いていると思うが、所見を伺う。

代表質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月15日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	19分	前島 明男(公明県民会議)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 2期目への決意を伺います。
- (2) 普天間の危険性除去、移設の取り組みについて、具体的にどう進めるか伺います。
- (3) 新たな沖縄新計画、新法制定の取り組みは急を要します。取り組みや取り組み体制について伺います。
- (4) 普天間移設と沖縄振興とのリンク論についての見解を伺います。
- (5) 米軍基地内で米国人上司から「パワーハラスメントを受け、不当に解雇された」ことについての見解を伺います。

2 総務部関連について

- (1) 行政改革について、3割が未達成とあるが、内容と今後の対応について伺います。
- (2) 今後、歳入不足が懸念されますが、対応・対策を伺います。
- (3) 一括交付金制度について、内容が明らかではありませんが、どのような内容を国に求める考えですか。
- (4) 本年、初めて事業棚卸しを実施しましたが、成果と課題について御説明ください。

3 企画部関連について

- (1) 「沖縄21世紀ビジョン」の中で国連機関、国際機関誘致の位置づけはどうなっているか。また、今後の取り組みはどうか。
- (2) 航空運賃を3割から5割引き下げる「小規模離島航空路利用活性化事業」の社会実験が6路線でスタートしておりますが、全離島に広げるべきだと考えるがどうか。

4 福祉・医療関連について

- (1) がん対策推進条例の制定に向けて、取り組みはどうか。
- (2) 2機目のドクターヘリ導入を今後どう取り組むか。
- (3) 子宮頸がん、Hib、小児肺炎球菌のワクチン接種について、県の支援策はどうか。
- (4) 待機児童解消に向けた対策と認可外保育児童への給食費助成の拡大について伺います。
- (5) 離島の妊婦健診受診者への交通費、宿泊費の助成を制度化するよう国に要請するべきではないですか。
- (6) 学童保育の増設と支援策について伺います。

5 教育行政関連について

- (1) 学力向上対策について
 - A 読解力向上のため、どのような対策をとっているか。
 - I 文字・活字大賞コンテストを県主催で実施してはどうか。
 - ウ 新聞の教育への活用をあらわすNIE (Newspaper In Education) について、学校現場での取り組み状況はどうでしょうか。

(2) いじめ対策について

- A 10月26日、群馬県桐生市立新里東小学校6年1組上村明子さんが、希望の春を迎える前にみずから生命を絶った。この事件を他山の石としなければいけない。この事件に対する教育長の感想をお聞かせください。

イ この事件を踏まえて、県内のいじめ対策をどう取り組みますか。

6 観光商工関連について

- (1) 知事公約である「1000万人観光」への戦略を伺います。
- (2) 外国人観光客誘致のための受け入れ体制として、英語、中国語、韓国語等の人材養成が重要ですが、取り組みを伺います。
- (3) 観光振興のためにも「文化観光スポーツ部」が新設予定と聞いています。その趣旨と目的を伺います。
- (4) 部局長を配した観光客誘致拡大推進本部(仮)の設置が必要だと考えるがどうか。

7 農林水産関連について

- (1) 沖縄ブランド豚「アゲー」の現状の生産量と今後の増産体制について伺います。
- (2) TPP (Trans Pacific Partnership) について、県内での影響と対策を伺います。
- (3) 松くい虫被害木を活用した資源再生型の魚礁について、積極的に使用すべきだと考えるがどうか。

8 文化環境関連について

- (1) 県立郷土劇場の再建設について、見通しを伺います。
- (2) 空手道会館の建設について、計画を伺います。
- (3) サンゴ礁の保全と再生について、県の対策と対応を伺います。
- (4) サンゴ礁保全のため、ダイバー等へ注意を喚起する条例制定の必要性について伺います。

9 土木建築部関連について

- (1) サイクリング道路建設の進捗状況を伺います。
- (2) 那覇港の整備状況について、ガントリークレーンの数も少ないし、岸壁の整備ももっとスピードアップすべきではないか。
- (3) 本部港の整備について、北部振興の拠点にしたいと考えるのであれば、沖の防波堤の整備を急ぐべきだと考えるがどうか。

代表質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月15日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	19分	瑞慶覧 功(社大・結)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事公約、実施政策について

(1) 基地問題の解決について

- ア 1期目の選挙公約「普天間飛行場の危険性の早期除去(3年以内に閉鎖状態にする)」が実現しなかった原因は何か、見解を伺う。
- イ 2期目の選挙公約「一日も早い普天間基地の危険性の除去を実現します」としているが、今後どういう手法で実現するのか見解を伺う。
- ウ 「日米共同声明の見直し、県外移設の実現」について決意を伺う。
- エ 「駐留軍用地跡地利用推進法の制定」の構想と効果を伺う。

(2) 産業の振興と経済の活性化について

- ア 「県民所得の全国中位を目標にあらゆる産業を振興します」としているが、目標の数値と達成年度について伺う。
- イ 「発展するアジアと連携し、ベンチャー企業等の発掘、連携を図ります」としているが、「発展するアジア」とは、どの国を指しているか、これまでのベンチャー企業の実績を伺う。
- ウ 「国・県発注の公共事業の県内受注率の向上を推進するとともに、米軍発注工事についてもその条件整備に取り組みます」としているが、具体策を伺う。

(3) 国際的な観光・リゾート地の形成について

「国際的MICE開催地として相応しい環境を整備」、「外国人観光客の積極的誘致のための基盤整備」には、英語・中国語・スペイン語等の外国語が話せる人材が必要だと思う。それぞれの外国語を話す人材を把握しているか人材登録について伺う。

(4) 雇用の安定と生活の安心について

1期目の公約でも「完全失業率の全国平均をめざします。」と掲げたが、できていない理由は何か、具体的にどのように達成するのか伺う。

(5) 離島の振興と過疎地域の活性化について

- ア 「再生可能エネルギーの導入に取り組みます」としているが、構想と効果を伺う。
- イ 「国境離島に対する支援を拡充します」としているが、国境離島は何力所で、どのような支援を図るのか伺う。

(6) 保健医療の充実と健康福祉社会の実現について

- ア 「お年寄りが元気でいきいきと暮らせる沖縄づくりと健康長寿世界一に再チャレンジ」としているが、県事業棚卸しで、新100歳に記念品を贈呈する高齢者祝い金支給が不要とされ、2011年度以降廃止されるところ、公約と真逆ではないか見解を伺う。
- イ 「医師確保を図るとともに医師の負担軽減にも取り組みます」となっている。なぜ看護師の負担軽減が入っていないのか、看護師確保の推進がないのか見解を伺う。

(7) 沖縄らしい自然環境の保全と循環型社会の形成について

県道における雑草対策の不備がたびたび社会問題となっている。歩行者の障害物となり、自動車等の運転にも支障を来すことがある。観光立県の面からも道路管理をしっかり行う必要があり、施策に入れるべきではないか見解を伺う。

(8) 国際交流・協力の推進と地域外交の展開について

- ア 「世界のウチナンチュ大会」、「太平洋・島サミット」開催概要と目的を伺う。
- イ 「海外展開をサポートする人材のネットワーク」の構築、具体策と事例を伺う。

ウ 「国連機関の誘致を図るとともに、アジア・太平洋「平和協力外交地域」の形成」の具体的な行動計画について伺う。

(9) 人材の育成と文化・スポーツの振興について

ア 「伝統文化を大切に保存し、子供たち孫たちへしっかり継承」するためには、沖縄の方言と歴史を学ぶことが大事だと思います。学校教育に取り入れるとしていますが、構想について伺う。

イ 「空手道会館、県立郷土芸能会館の建設、整備」の計画構想を伺う。

(10) 社会資本・産業基盤の整備について

ア 「国際ターミナルの整備」は中国便路線など国際路線の新設等に伴い喫緊の課題である。事業概要を伺う。

イ 「県営住宅等の再整備を推進」の事業概要と既存の状況を伺う。

(11) 地域主権の確立と執行体制の強化について

普天間移設と振興策のリンク論をめぐり、菅政権では閣内不一致と報じられている。知事は「振興策引きかえには応じない」と明言されている。決意は変わらないか伺います。

2 同床異夢発言について

安里宜野湾市長と稲嶺名護市長との面談の席上、知事は「同床異夢の感がないわけではない」と発言しているが、その真意を伺う。

3 カジノの導入について

知事は、新聞社のインタビューで断念を示唆するような発言をされていますが、見解を伺います。

4 日米共同統合演習について

(1) 選挙の翌日早朝から普天間飛行場では訓練が行われ騒音をまき散らし、3日からは過去最大規模の演習が行われている。沖縄での演習実態について県の対応を伺う。

(2) 基地容認の知事の姿勢が訓練を助長させているのではないか見解を伺う。

5 病院行政について

(1) 平成21年度の経営再建計画の成果及び平成22年度における現時点での経営再建計画の進捗状況について伺う。

(2) 本年4月から、南部医療センター・こども医療センターで7対1の看護体制が実施されている、その成果について伺う。また、県立中部病院の実施計画はどうなっているか。

(3) 県立病院の看護師不足は、66病床の休床を招いている。県立浦添看護学校を県立病院の附属看護学校として位置づける考えはないか。また、そのような議論がされたことはあったか。

代表質問通告表

平成22年第6回沖縄県議会(定例会)

12月15日(水)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	15分	當間 盛夫(改革の会)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事公約11の実施政策について

(1) 産業の振興と経済の活性化について

- ア 最下位の県民所得をどのようにして全国中位に押し上げることができるのか具体策と達成時期を伺う。
- イ 農林水産業の復帰後の衰退状況と原因、TPPに対する認識と対応策を伺う。
- ウ 米軍発注工事の現状と条件整備の取り組みを具体的に伺う。
- エ 離島県の航空運賃軽減、物流コスト低減化の取り組み状況を伺う。
- オ 観光力強化事業・市場拡大構築事業などの県内外企業の委託契約状況を伺う。県内企業優先発注は当然と考えるが見解を伺う。

(2) 雇用の安定と生活の安心について

- ア 若年者・非正規の雇用状況と正規化に向けての具体策を伺う。
- イ 生活の安心のためには「貧困」問題をなくすことが重要であるが状況と取り組みを伺う。

(3) 基地問題の解決と跡地利用の促進について

- ア 基地と振興策の「リンク論」に関して知事の認識を伺う。
- イ 普天間基地危険性の除去と嘉手納基地の騒音軽減に向けての現実的方策と主体的行動を伺う。
- ウ 中国の軍事的台頭、朝鮮半島の緊張など外部環境の変化の認識を伺う。また、米軍基地と抑止力、島嶼防衛と自衛隊配備の見解を伺う。
- エ 米軍基地の過重負担、県外移設を全国知事会で提起されることが早期解決策に向けてのスタートではないか、取り組みを伺う。

(4) 人材育成と文化・スポーツ振興について

- ア 次期振計では教育・人材育成を柱に制度を構築すべきと思うが認識を伺う。
- イ アミークスインターナショナルスクールは「公設民営」なのか県の認識を伺う。赤字経営時の責任はどこか、また私立学校の支援拡充の取り組みの具体策を伺う。
- ウ 伝統芸能の拠点となる施設「県立郷土芸能会館」整備の取り組み状況を伺う。
- エ 「全国エイサー大会」の評価と今後の取り組みについて伺う。

(5) 社会整備・産業基盤の整備について

- ア 空港特別会計予算状況と平行滑走路の進捗状況、現状の自衛隊共有の認識と下地島空港訓練移転など民間枠の拡充のための対策を伺う。
- イ 鉄軌道系を含む公共交通システムの導入取り組み状況と、モノレール運賃値上げは公共交通促進に逆行するものであるが認識と対策を伺う。

(6) 地域主権の確立と執行体制の強化について

- ア 復帰後の沖縄関係予算が政府の一般会計歳出予算総額に占める額、割合を伺う。また、沖縄振興の原点は果たされているとの認識か伺う。
- イ 「海洋観光立県」として観光、海洋資源開発や海洋保全などで自立型経済活性化を構築する認識と取り組みを伺う。
- ウ 関西広域連合、九州広域連合など、道州制に向けて加速化している認識と取り組み状況を伺う。

I 与那国町など離島市町村の公金・公共事業に関する使途不明金や告発に対する取り組みを伺う。